

## 高知大学病院：消化器専門医を目指す内科プログラム（プログラム責任者：内田一茂・宮地英行）

### I. プログラムの特色

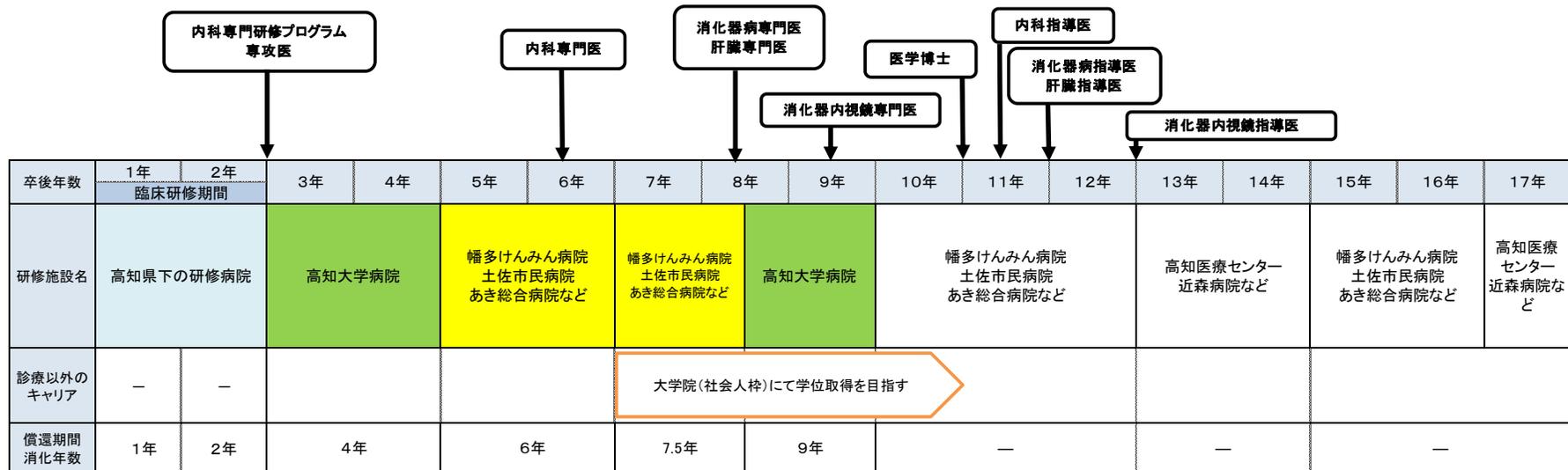
各診療科の協力のもと内科専門医取得のための研修をすることはもちろんのこと、消化器内科では消化器病専門医、肝臓専門医、消化器内視鏡専門医の資格取得に向けた研修を同時に行います。

専門医取得後は、大学院において今までに解決できなかった臨床上の疑問点を研究によって解決する手法を学び、その成果を再び臨床に還元する、"From bedside to bench and back again."を合言葉に学位取得を目指します。取得後はそれぞれの先生の個性に合わせて、続けて研究活動を行う、更なる専門領域の研修に励む、一般消化器内科医として高知県の地域医療に貢献するという様々な進路を用意しています。

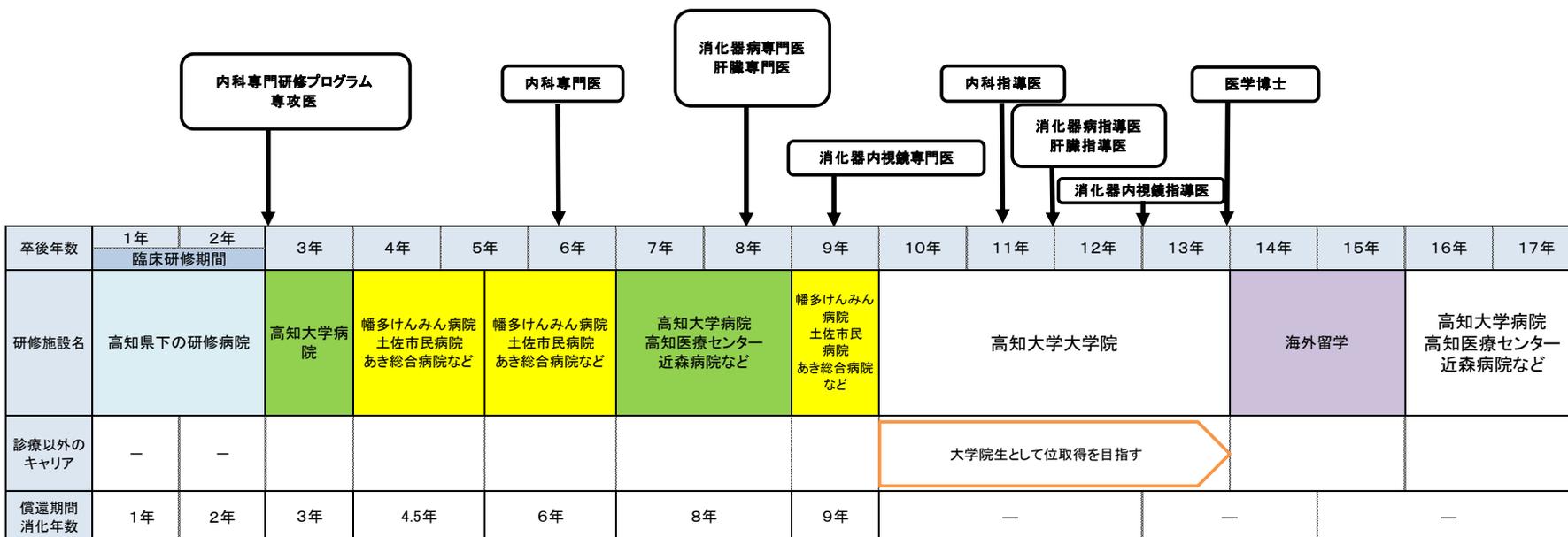
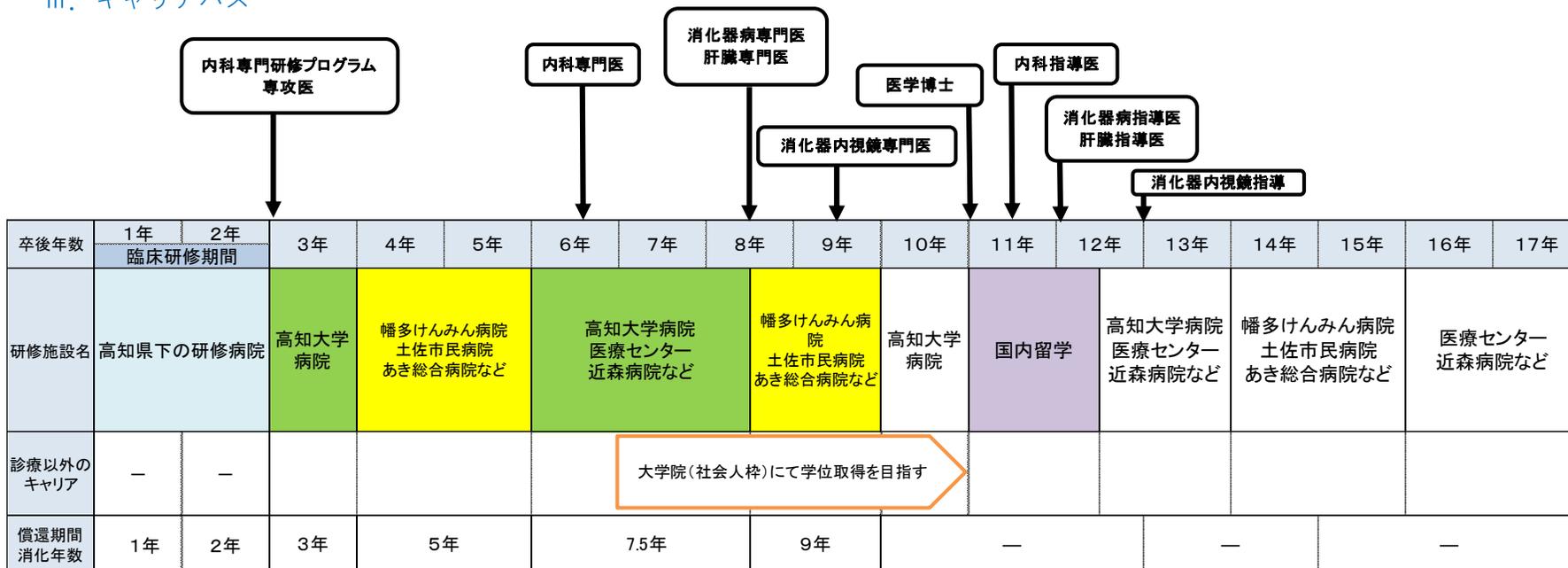
### II. 目標

内科そして消化器専門医の資格の取得は当然のこととして、その研修の過程で人間的にバランスが取れた、高い臨床能力を持った、問題点を自分で見つけ出し解決できる自己解決能力を持った医師となることを目標としています。

### III. キャリアパス



### III. キャリアパス



## 高知大学病院：内分泌代謝、糖尿病、腎臓、リウマチ膠原病専門医を目指して（プログラム責任者：藤本新平）

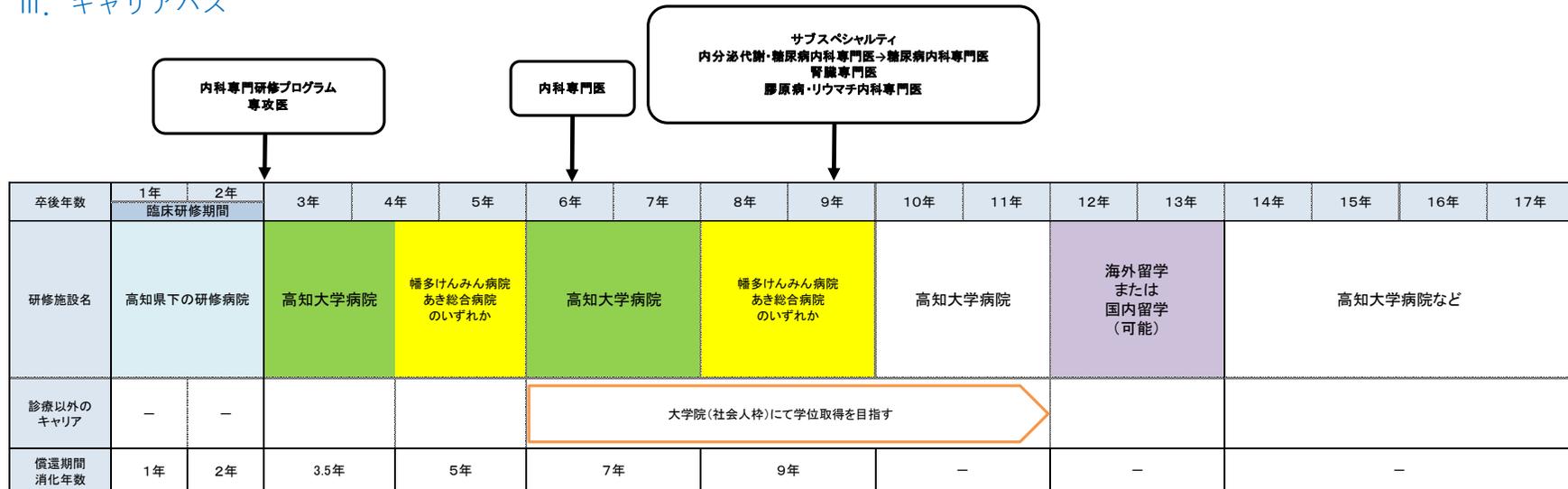
### I. プログラムの特色

内分泌、糖尿病、腎臓、膠原病・リウマチの診療領域は非常に多くの疾患人口があり、これらの疾患は慢性的な経過をとることが多く、服薬だけでなく、食事運動療法、メンタルケア、感染予防管理を含めて、全人的治療が必要である。当科では総合的な診療体制が組める診療環境が整っており、関連病院と連携し、これら疾患の克服を目指している。さらに難治性疾患においては新規の生物学的製剤、分子標的治療、血液浄化・吸着療法などの高度先進治療も行っており、これらの研修も可能である。

### II. 目標

内分泌、糖尿病、腎臓、膠原病・リウマチ内科医は、若年～超高齢社会の総合的な医療ニーズに対応しつつ、内科領域における幅広い知識、錬磨された問題解決能力や診療手技、高い倫理性を備えた医師であるべきとの姿勢のもと、この領域の専門知識や技能を習得し、内分泌、糖尿病、腎臓、リウマチ膠原病内科の専門医および指導医となり、地域医療に貢献する。

### III. キャリアパス



卒後年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年
	臨床研修期間																
研修施設名	高知県下の研修病院		高知大学病院	近森病院、高知赤十字病院のいずれか	幡多けんみん病院 あき総合病院のいずれか	高知大学病院		高知大学病院	幡多けんみん病院 あき総合病院のいずれか		高知大学病院	“海外留学 または 国内留学 (可能)”		高知大学病院など			
診療以外のキャリア	-	-				大学院(社会人枠)にて学位取得を目指す											
償還期間 消化年数	1年	2年	3年	4年	5.5年	7年	-		9年	-		-					-

内科専門研修プログラム  
専攻医

内科専門医

サブスペシャリティ  
内分泌代謝・糖尿病内科専門医→糖尿病内科専門医  
腎臓専門医  
膠原病・リウマチ内科専門医

卒後年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年
	初期臨床研修期間																
研修施設名	高知県下の研修病院		高知大学病院	近森病院、高知赤十字病院のいずれか	幡多けんみん病院 あき総合病院のいずれか	高知大学病院	国内留学	高知大学病院	高知大学病院	幡多けんみん病院、 あき総合病院のいずれか		高知大学病院	海外留学 または 国内留学(可能)		高知大学病院など		
診療以外のキャリア	-	-				大学院(社会人枠)にて学位取得を目指す											
償還期間 消化年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	-	6.5年	-	9年	-	-	-				-

内科専門研修プログラム  
専攻医

内科専門医

内分泌代謝・糖尿病内科専門医→糖尿病内科専門医  
腎臓専門医  
膠原病・リウマチ内科専門医

## 高知大学病院：呼吸器・アレルギー内科専門医を目指す内科プログラム（プログラム責任者：上月稔幸）

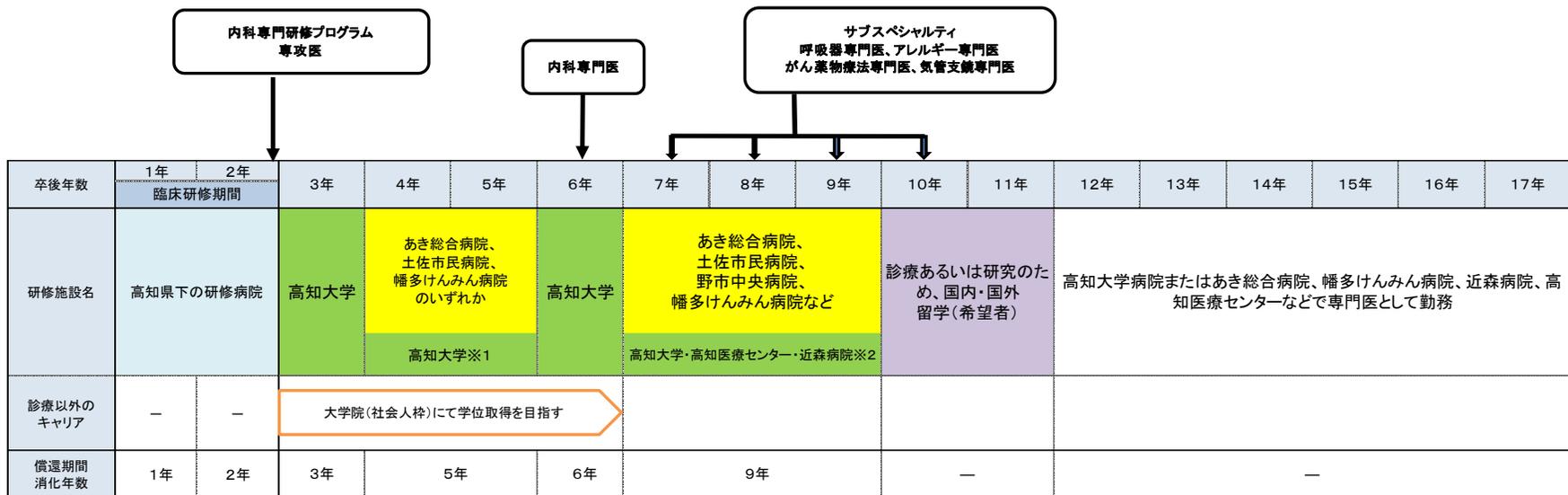
### I. プログラムの特色

高知県で非常に不足している呼吸器、アレルギー領域の専門医を効率的に取得することをめざす内科専門医プログラムである。プログラムは極めてフレキシブルであり個々人の目標と希望あるいは事情にあわせて個別化したプログラムを作ることができる。また、がん薬物治療あるいはアレルギー領域の専門医を併せてめざすことも可能である。

### II. 目 標

まずは最初の3年間の研修により内科専門医を取得し、合わせて内科サブ領域専門医の取得を目指す。サブ領域を主として活躍したい場合はスーパー専門医を目標として、内科研修に連動してサブ領域を研修し、臨床研修後4年でサブ領域専門医も取得し、さらに国内外への留学も含めて計画する。一方幅広い内科領域（内科指導医）を取得する場合は、総合診療専門医とのダブルボードを目標とすることもできる。

### III. キャリアパス



※1 1～2年間は高知市・南国市外での研修を確保する（本人希望や医局の状況にあわせて）。  
 ※2 1.5～2.5年は高知市・南国市外での研修を確保する（本人希望や医局の状況にあわせて）。

## 高知大学病院：血液内科専門医をめざすプログラム（プログラム責任者：小島研介）

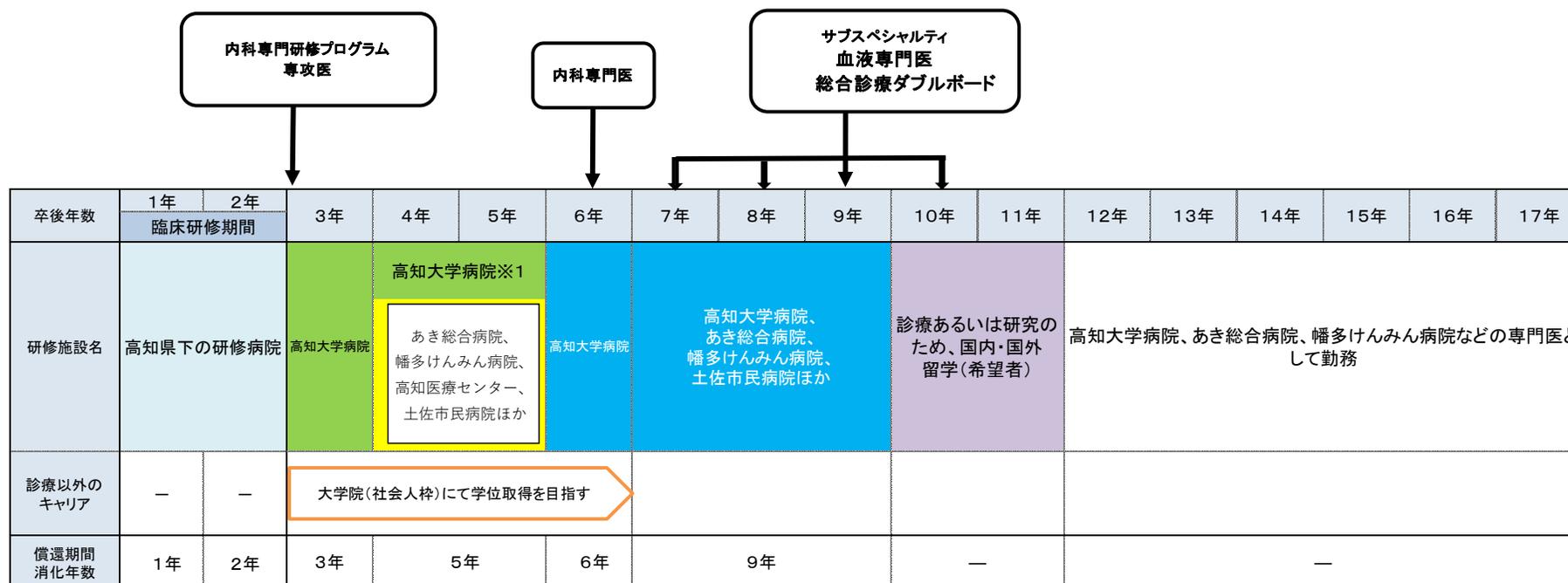
### I. プログラムの特色

高知県で極めて不足している血液専門医の育成をめざす内科専門医プログラムである。血液内科が大学勤務でも義務年限を償還できることから、プログラムの詳細は個々の専攻医の目標と希望あるいは事情にあわせてアレンジできる。造血細胞移植認定医、輸血・細胞治療学会認定医を併せてめざすことも可能である。7年目以降、本人の希望と医局の状況にあわせて高知大学病院に勤務することも可能で、ライフイベントがあっても安全に血液内科専門医を取得できる環境である。

### II. 目標

まずは最初の3年間の研修により内科専門医を修得し、合わせて内科サブ領域の専門医の取得を目指す。サブ領域を主として活躍したい場合はスーパー専門医を目標として、内科研修に連動してサブ領域を研修し、臨床研修後4年でサブ領域専門医も修得し、さらに国内外への留学も含めて計画する。一方、幅広い内科領域（内科指導医）を取得する場合は新しい総合内科専門医取得を目標としたり、総合診療専門医とのダブルボードを目標とすることもできる。

### III. キャリアパス



※1 1～2年間は高知市・南国市外での研修を確保する(本人希望や医局の状況にあわせて)。

## 高知大学病院：循環器専門医プログラム 老年病専門医プログラム（プログラム責任者：北岡裕章）

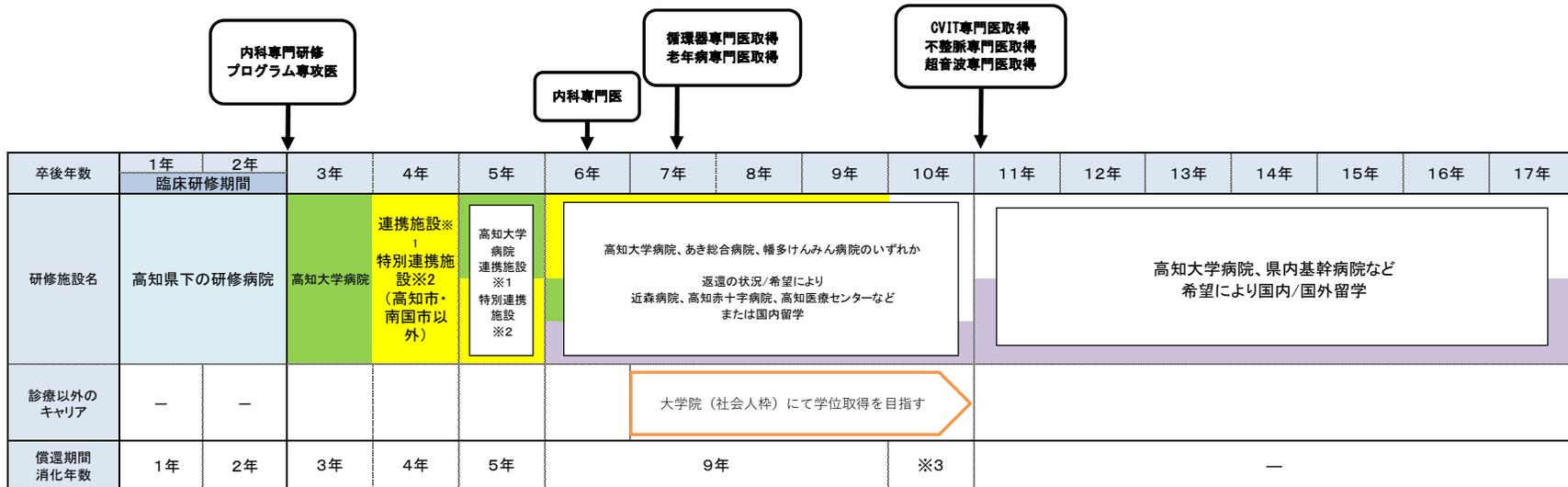
### I. プログラムの特色

高知大学医学部内科専門医プログラムは、附属病院を基幹病院とし、高知県内の多くの医療機関を連携施設または特別連携施設とすることにより、内科全般にわたる研修は勿論のこと、地域医療からサブスペシャリティを含む次のキャリアへのステップアップへの橋渡しをシームレスに行うことが可能です。高知県医師養成奨学貸付金等制度受給者のキャリア形成にも最適と考えます。そして希望者は卒後10年までの間に一年間国内留学を相談します。

### II. 目標

本プログラムを通じて、幅広い内科の知識を基盤とした内科専門医かつ個々のスペシャリティを有する循環器専門医/老年病専門医を取得する。リサーチマインドをもち、最先端の治療に精通したうえで、全人的な医療を展開し、地域医療に貢献する。

### III. キャリアパス



※1連携施設：高知県立あき総合病院、高知医療センター、近森病院、高知赤十字病院、国立病院機構高知病院、細木病院、JA 高知病院、高知県立幡多けんみん病院  
 ※2特別連携施設：四万十市立市民病院、渭南病院、大月病院、高北国民健康保険病院、愛宕病院、いづみの病院、高知生協病院、高知高須病院、白菊園病院、南国病院、土佐市民病院、野市中央病院、嶺北中央病院、北島病院、須崎くろしお病院、くぼかわ病院、橋原病院、大井田病院、島本病院、四万十市国民健康保険西土佐診療所、仁淀川町国民健康保険大崎診療所、四万十町国民健康保険十和診療所、四万十町立興津診療所、いの町立国民健康保険仁淀病院  
 ※3 6～9年に高知市・南国市の病院に勤務又は国内留学をした場合、期間に応じて償還期間は延長される。

## 高知大学病院：脳神経内科専門医（プログラム責任者：松下拓也）

### I. プログラムの特色

脳神経内科領域では治る病気が増えました。脳神経内科医は、適切に脳神経所見をとり、各種検査結果を把握したうえでの確定診断に基づいて治療を実行する必要があります。

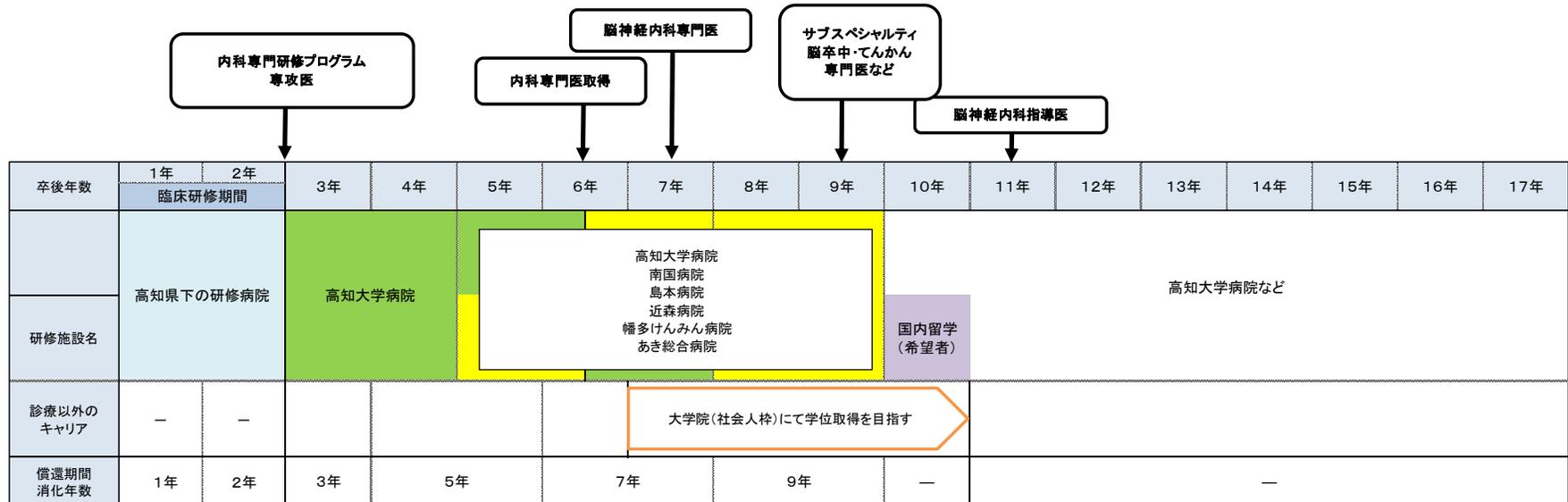
また、他診療科の医師に相談することと、コメディカルと協調・協力する機会が多いという特徴があります。

このプログラムは、附属病院を基幹病院として県内の連携施設および特別連携施設と連携しますので、脳神経内科領域のほとんど全ての疾患を経験することが可能であり、脳神経救急から脳神経内科全般、そして在宅医療までの経験を積むことができます。

### II. 目標

内科専門医と脳神経内科専門医の資格を取得することをまず目標とします。脳神経内科領域のほとんど全ての疾患を経験することが可能です。学会発表、学術論文の作成にも活発に取り組むことができます。学位を取得することも可能です。

### III. キャリアパス



## 高知大学病院：薬物療法専門医を目指すプログラム（プログラム責任者：佐竹悠良）

### I. プログラムの特色

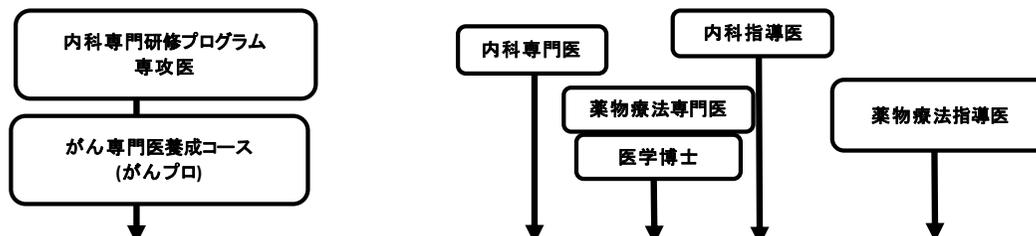
各診療科の協力のもと内科専門医取得のための研修をすることはもちろんのこと、腫瘍内科では薬物療法専門医、及び希望者にはサブスペシャリティ領域専門医の資格取得に向けた研修を同時に行います。内科専門研修プログラム専攻と同時に、がん専門医養成コースを履修することにより、学位取得と同時に薬物療法専門医資格取得を目指します。希望者は国立がん研究センターや神戸市立医療センター中央市民病院をはじめ、国内外の研究機関や研究者との国内・外留学を含めた相互交流を行い、新たなエビデンスを創出できる人材を育成します。

薬物療法専門医資格及び学位取得後は、それぞれの先生の個性に合わせて、続けて研究活動を行う、更なる専門領域の研修・後進の育成に励む、地域医療発展に貢献するという様々な進路を用意しています。

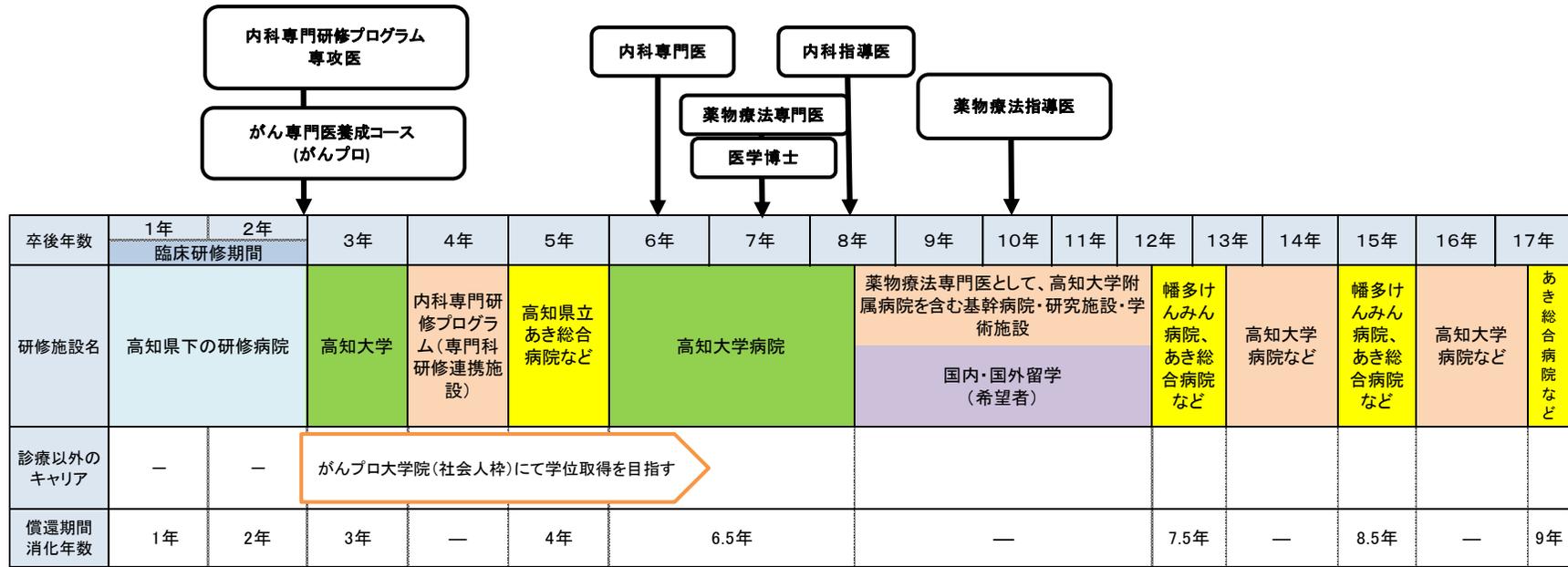
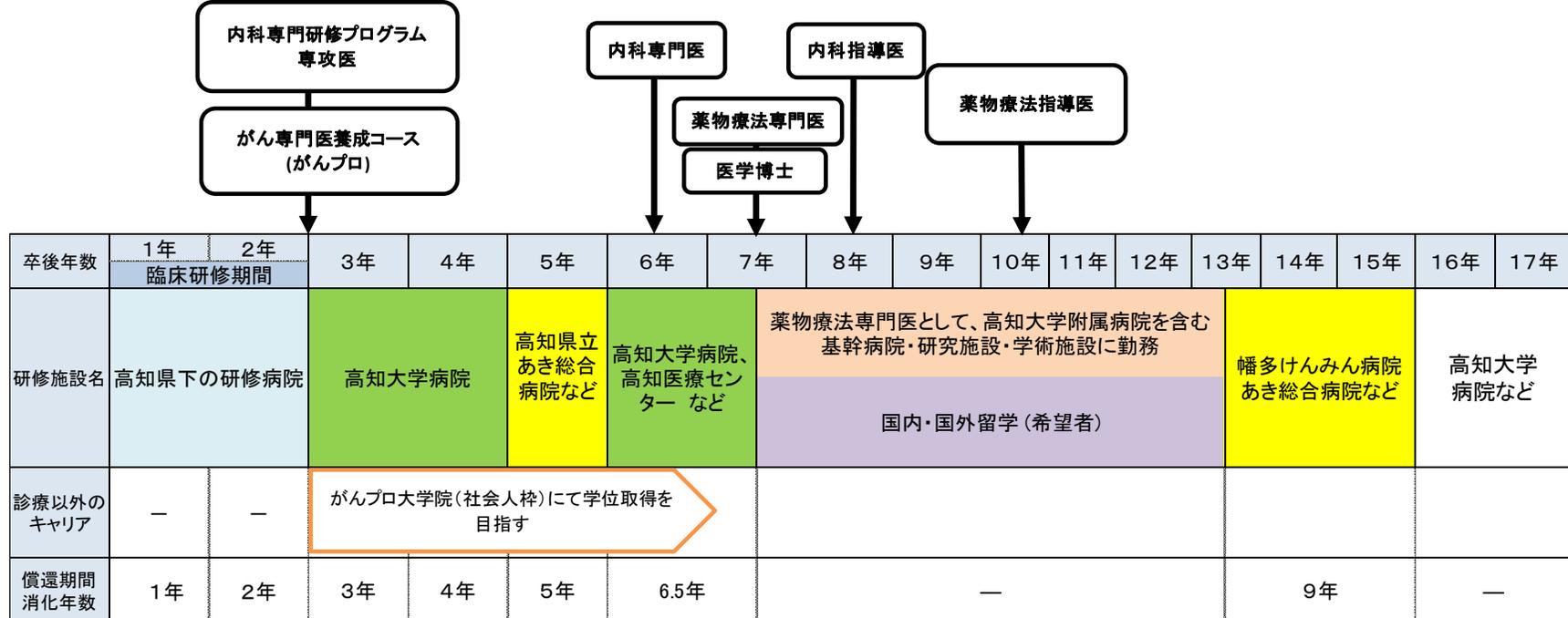
### II. 目標

内科そして薬物療法専門医の資格の取得は当然のこととして、その研修の過程で人間的にバランスが取れた、高い臨床能力を持ち、問題点を自分で見つけ出し解決できる自己解決能力を身につけた医師となることを目標としています。

### III. キャリアパス



卒後年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年
	臨床研修期間																
研修施設名	高知県下の研修病院		高知大学病院	高知大学病院	幡多けんみん病院、土佐市民病院など	高知大学病院、高知医療センターなど	幡多けんみん病院、土佐市民病院など	薬物療法専門医として、高知大学附属病院を含む基幹病院・研究施設・学術施設に勤務									
	国内・国外留学(希望者)																
診療以外のキャリア	—	—	がんプロ大学院(社会人枠)にて学位取得を目指す														
償還期間消化年数	1年	2年	4年	5年	6.5年	9年	—										



※ここに記載したのは具体例であり、国内・外留学や産休・育休など相談に応じて、個別にキャリアパスを組みます。

## 高知赤十字病院：内科専門医を目指して（プログラム責任者：有井 薫）

### I. プログラムの特色

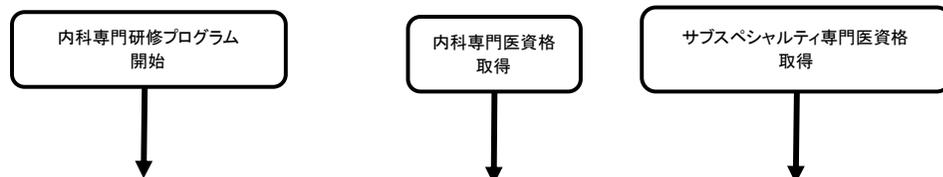
当院内科系には、消化器、循環器、呼吸器、血液、糖尿病、腎臓、リウマチ膠原病の専科があり、それぞれの専門医が互いに相談・協力し合いながら日常の外来・入院診療を行っています。そのため、幅広い視野とスキルを培う内科研修が可能であり、サブスペシャリティ領域を重視した専科単独の研修であっても臓器専門に著しく偏ることのない内科専門医となることが可能と考えます。

また、より高度な医療の研修を希望される専攻医には、連携施設である二つの国立大学病院での院外研修も可能となっています。一方、本プログラムは高知県内で健康管理、在宅医療から救急医療まで様々な医療分野を担っている施設と連携を組んでいるため、超高齢社会である高知県の医療事情に精通した専門医を育成します。研修修了後には、高知県全体の医療を支え、リーダーシップを発揮しうる内科医となることを期待します。

### II. 目標

内科全般の知識や技能を習得し、総合的な診療が行える内科医師としての土台作りを行い、さらにその上の専門分野の疾患と病態を系統的に理解し、時代に即した適正な医療を実践できるとともに、先進的高度医療や特殊医療にも通じ、チーム医療ならびに病診・病病などの連携医療、予防医療を過不足なく遂行できる医師を目指す。

### III. キャリアパス



※実際の勤務先については都度、受け入れ施設及び県と相談

卒後年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年
	臨床研修期間																
研修施設名	高知県下の研修病院		高知赤十字病院		高知赤十字病院		野市中央病院 土佐市民病院 幡多けんみん病院 あき総合病院 のいずれか		高知赤十字病院		野市中央病院 土佐市民病院 幡多けんみん病院 あき総合病院 のいずれか	高知赤十字病院 ※国内留学等					
診療以外のキャリア	—	—			内科専門研修プログラム(連携施設・特別連携施設): 野市中央病院、土佐市民病院、嶺北中央病院、幡多けんみん病院、 椿原病院、大月病院、馬路診療所、大正診療所、大崎診療所のいずれか												
償還期間 消化年数	1年	2年	3年	4年	6年		8年		8.5年	—	—	9年	—	—			

# 高知医療センター：消化器内科専門医をめざそう（プログラム責任者：岡本宣人）

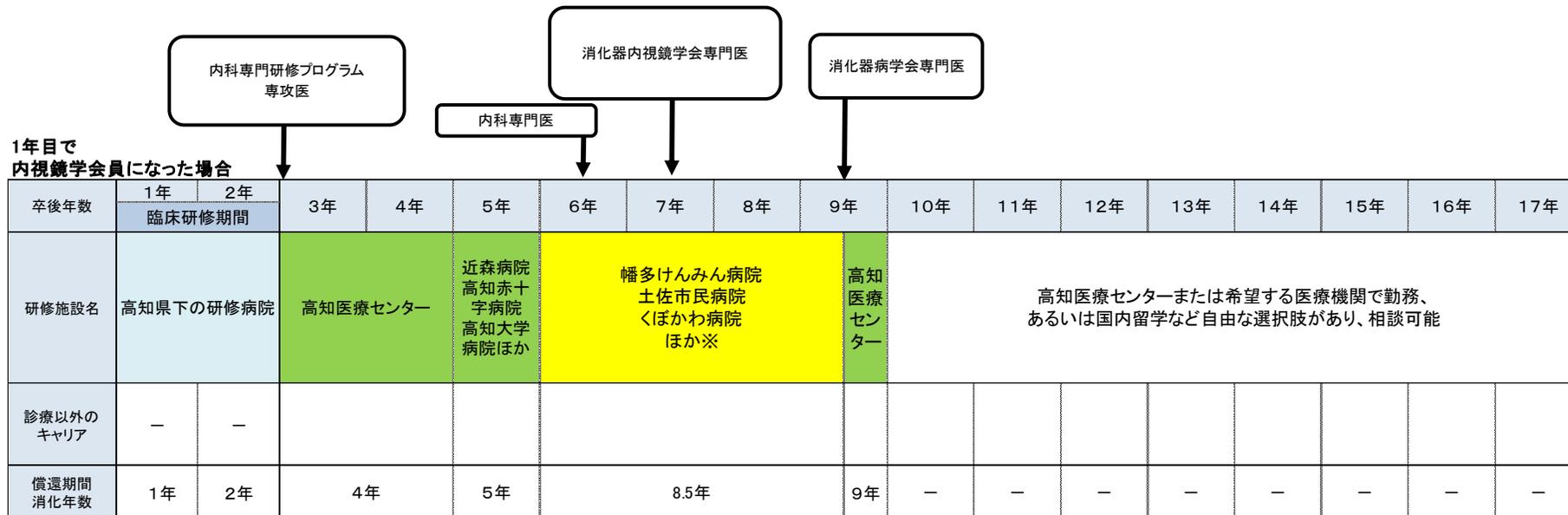
## I. プログラムの特色

消化器内科医として必要な消化器病学会専門医、消化器内視鏡学会専門医、また今後より重要度の増してくると思われる、がん薬物療法専門医の各資格取得を目指したプログラム。

## II. 目標

消化器疾患は内科の中でも最も取り扱う臓器数が多く、広範な知識を必要とするとともに、内視鏡検査・診断、治療内視鏡、IVR、化学療法など取り扱うべき医学的技術も多い。そのため、より多くの消化器内科医を輩出することで、本県の医療水準の底上げを目指す。

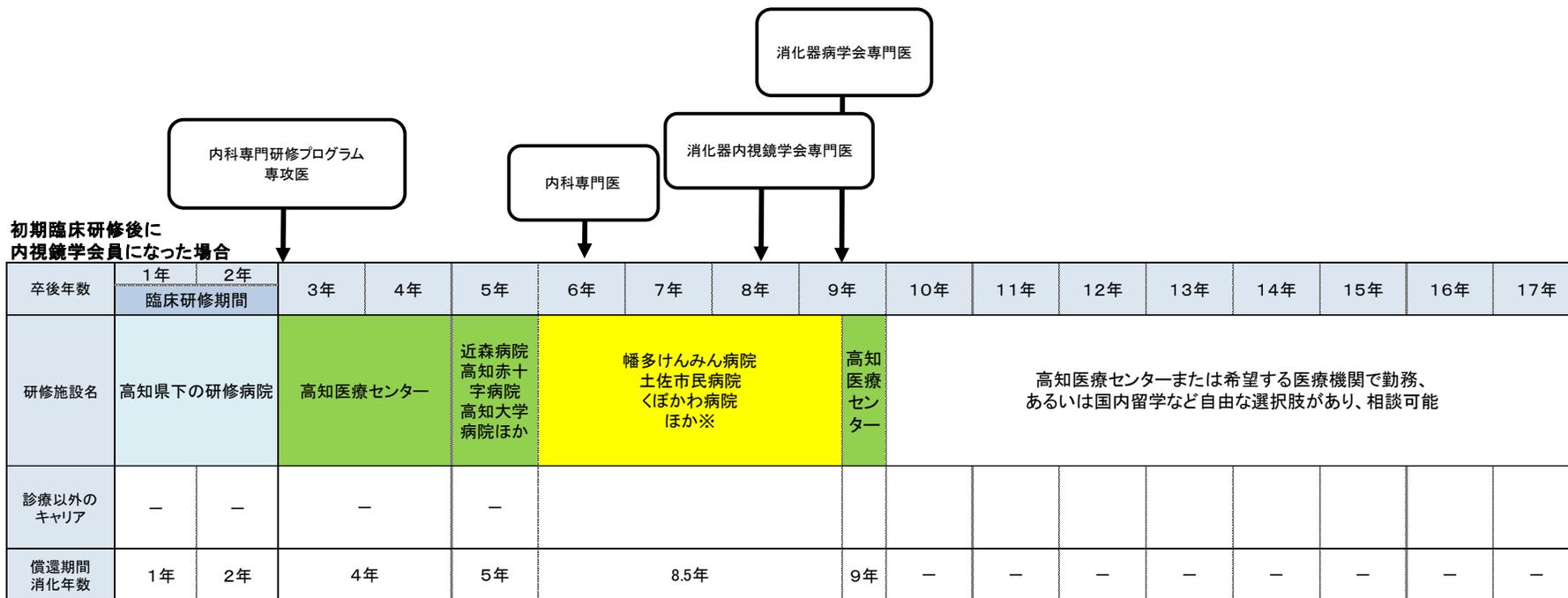
## III. キャリアパス



※高知医療センター指導医が定期的に連絡をとり、キャリアアップを確認。

# 高知医療センター：消化器内科専門医をめざそう（プログラム責任者：岡本宣人）

## III. キャリアパス



※高知医療センター指導医が定期的に連絡をとり、キャリアアップを確認。

## 高知医療センター：内科系サブスペシヤルティの取得をめざそう（プログラム責任者：岡本宣人）

### I. プログラムの特色

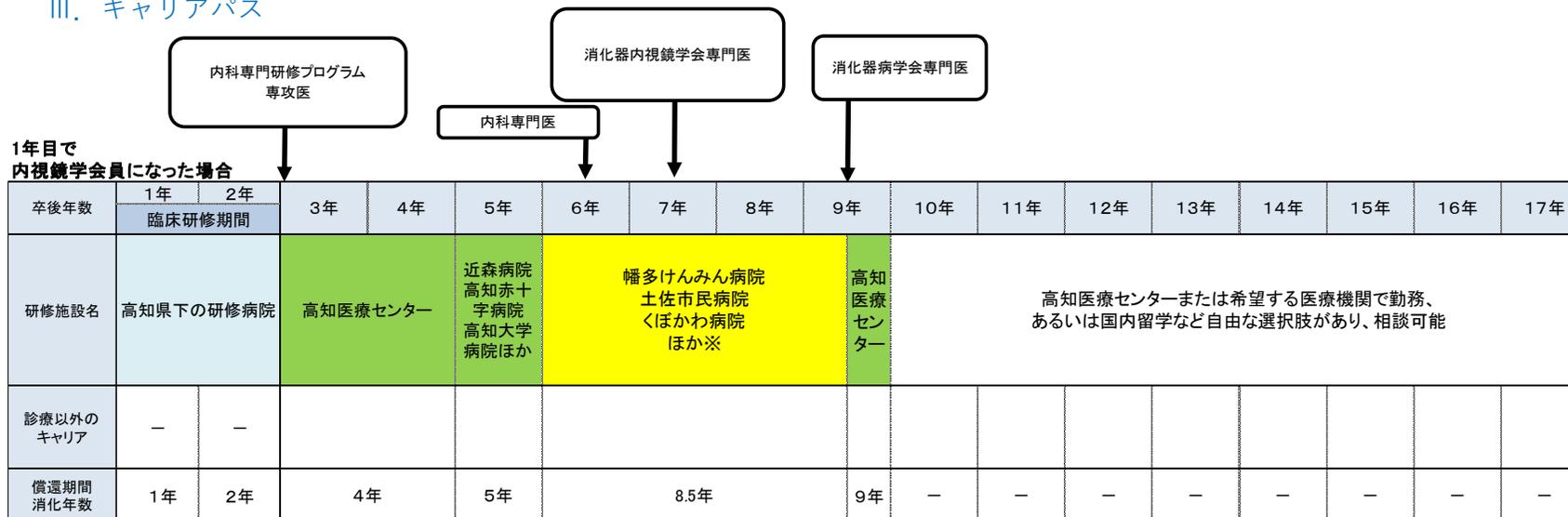
当院の特色は、診療科同士の垣根が低く、コミュニケーションが取りやすい点である。また、コモディジーズや救急疾患ばかりでなく、小児科からのトランジション、産科に合併した内科疾患が多いことである。鉄は熱いうちに打てという諺があるように、最初の3年間は医療センターなどの症例数の多い病院で研鑽を積む。その後、幡多けんみん病院やあき総合病院で、これまでに培った経験を生かし、より主体性のある研修を行うことで実力を高めていくことが可能である。（プログラムモデルA）

また、プログラムを開始後、高知医療センターと地域の病院を行き来しながら研修を行うプログラムも対応可能である（プログラムモデルB）。現時点で、当院の内科専門研修プログラムはあき総合病院は連携施設ではない。この件については引き続き、連携施設として参加いただけるよう努めていく所存である。

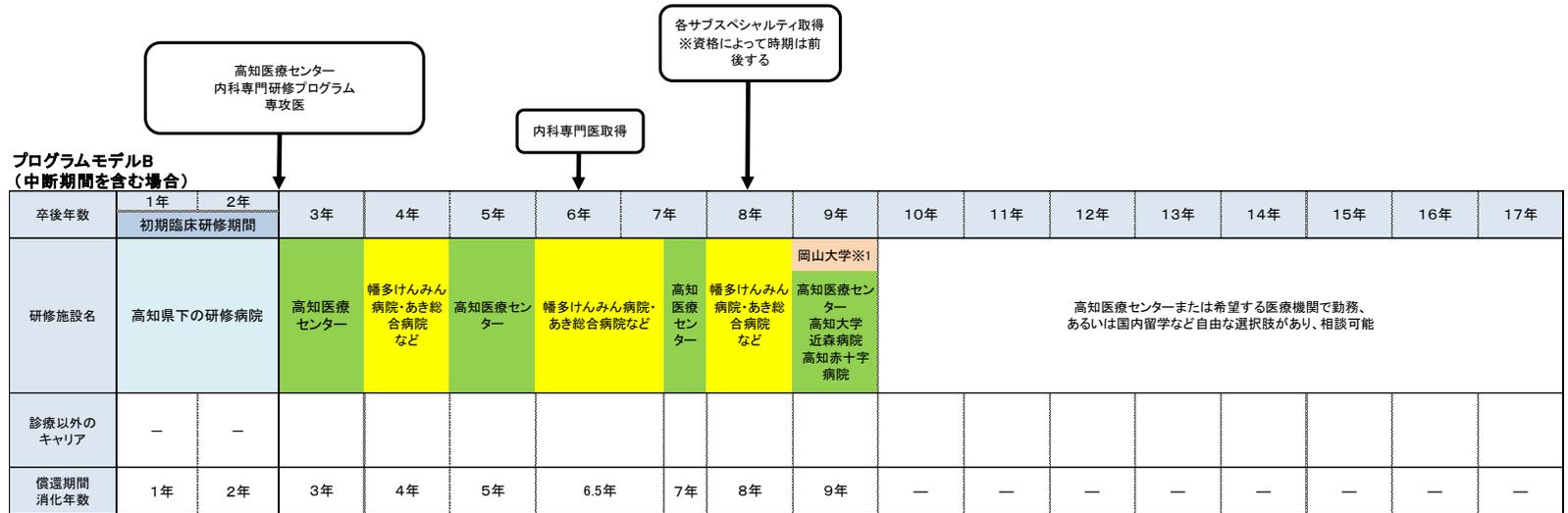
### II. 目標

長期的な視野に立ち、高知の医療機関以外にも県外又は海外留学なども視野に入れ、社会に役立つ各サブスペシヤルティの専門医・指導医の養成をはかる。

### III. キャリアパス



※高知医療センター指導医が定期的に連絡をとり、キャリアアップを確認。



当院内科プログラムは研修の長期中断が可能である(要相談・プログラム管理委員会での承認が必要)  
 高知医療センターでは、地域枠の先生のキャリアアップを援助するため、医局のような役割を果たせるよう病院をあげて取り組みます。  
 ※1 岡山大学の研修期間は償還対象外となる。

## 高知医療センター：社会に貢献できる循環器内科専門医の取得をめざす（プログラム責任者：尾原義和）

### I. プログラムの特色

当院は日本循環器学会、日本心血管インターベンション治療学会、日本超音波医学会の研修施設であり、これらの専門医を目指す先生方にとって非常に良い環境です。

また、当院はカテーテルでの大動脈弁置換術（TAVI）や経皮的僧帽弁接合不全修復術（Mitra Clip）の認定施設でもあり、ストラクチャー部門も非常に充実しています。やる気さえあれば、比較的研修早期から様々な分野における知識や手技の取得が可能です。

また、学会活動も積極的に行っており、希望があれば国際学会への参加や発表も可能です。その他にも、論文作成や雑誌への投稿も上級医より指導が受けられます。

### II. 目標

内科専門医の取得後、希望に応じてサブスペシャリティとして、循環器内科専門医、日本不整脈心電図学会専門医、日本超音波学会専門医、日本心血管インターベンション学会専門医、日本高血圧学会専門医、日本内科学会総合内科専門医などの取得を目標とします。

### III. キャリアパス

キャリアパスは「高知医療センター：内科系サブスペシャリティの取得をめざそう」（P.14, 15）と同様

## 高知医療センター：血液内科専門医をめざすプログラム（プログラム責任者：今井利）

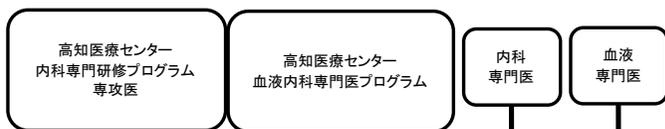
### I. プログラムの特色

当科は、日本血液学会研修認定施設、日本造血・免疫細胞療学会移植認定施設、日本骨髄バンク非血縁者間同種骨髄採取認定施設であり、また各疾患の症例数が非常に多く、血液内科専門医、日本造血・免疫療学会認定医を目指す先生方には非常に良い環境です。同時に、当科は特定科目県内医療機関に認めて頂いており、当科勤務期間中は上限なく勤務義務履行としてカウントされます。そのため、内科専門研修に連動して血液専門医研修が可能であり、最短で内科専門医は医師6年目で血液専門医は7年目で取得可能で、義務履行も最短で9年間で終了できます。

### II. 目標

内科専門医、血液内科専門医の取得は最低限の目標とする。将来的には、高知県内の医療機関での勤務を第一に考えつつ、希望があれば県外又は海外留学なども視野に入れ、より高度な医療機関や研究機関での勤務が可能な医師を育成する。

### III. キャリアパス



プログラムモデルA(最短コース)

卒後年数	1年		2年		3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年		
	初期臨床研修期間																				
研修施設名	高知県下の研修病院				幡多けんみん病院 土佐市民病院 くぼかわ病院 他※1		高知医療センター			高知医療センターまたは希望する医療機関で勤務あるいは国内留学など自由な選択あり相談可能											
診療以外のキャリア	-		-																		
償還期間 消化年数	1年	2年	3年		4年	5年	6年	7年	8年	9年											

※1 高知医療センター指導医が定期的に連絡をとり、キャリアアップを確認。

※2 このプログラムは内科・血液内科専門医取得、義務履行の最短コースです。

※3 県内指定医療機関(黄色部分)を4あるいは5年目に選択した場合は、血液専門医取得が1年遅れます。

※4 義務年限中に県外の病院で研修することは可能ですが、その期間償還が延長されます。

## 近森病院：内科専門研修プログラム（プログラム責任者：細田勇人）

### I. プログラムの特色

幅広い疾患群と圧倒的な症例数を有する近森病院を中心に、重症疾患だけでなく軽症の救急疾患やコモンディーズを数多く経験することで、救急医療や高齢者医療に強いジェネラリストの育成を行っている。

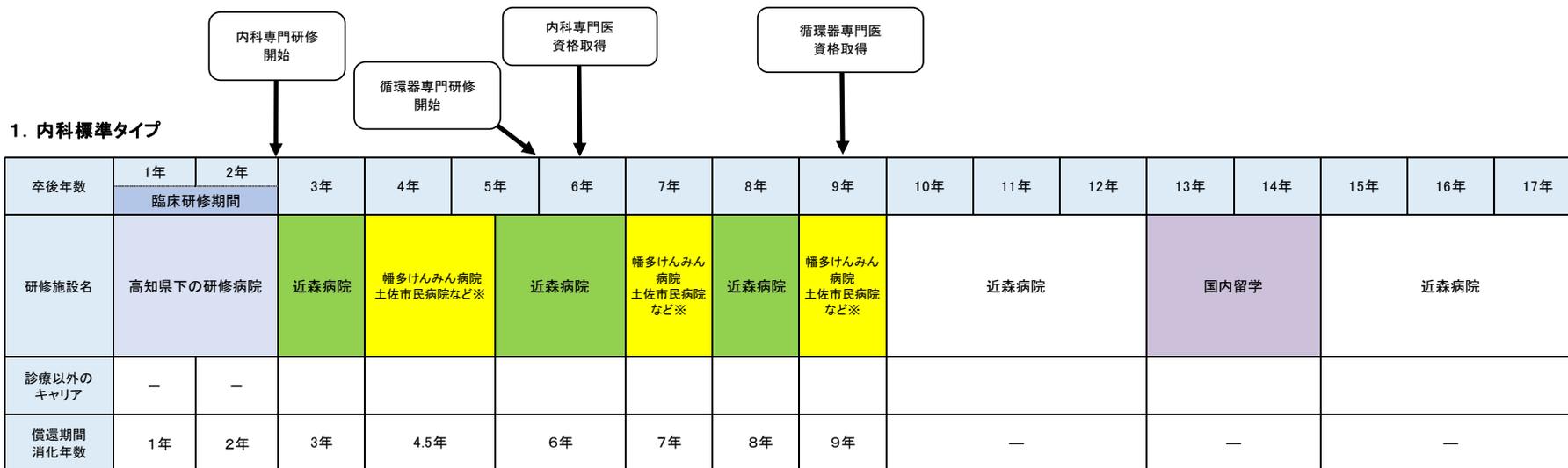
また、サブスペシャリティ専門研修との連動(並行)にも対応しており、大内科制の特長を生かし、専門研修1年目から希望するサブスペシャリティ領域に所属したままで研修を行うことが可能。専門研修1年目に内科専門研修で求められる経験症例数要件を満たした後は、2年目から希望するサブスペシャリティ領域の研修を重点的に行い、最短4年間(6年目)で内科専門医に加えサブスペシャリティ領域専門医資格の取得が可能である。

### II. 目 標

「Primary careもできるspecialistを育てる」ことを目指している。救急疾患や一般的疾患を数多く経験することで内科専門医としての基本的な臨床能力を獲得し、標準的かつ全人的な内科診療の実践に必要な知識と技能を習得する。その後、更に高度な内科領域サブスペシャリティ専門医の研修を行い、高知県全域を支える内科専門医を養成する。

### III. キャリアパス

#### サブスペシャリティ循環器専門医コースの一例



2. サブスペシャリティ  
重点研修タイプ

卒後年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年
	臨床研修期間																
研修施設名	高知県下の研修病院		近森病院	幡多けんみん病院 土佐市民病院 など※	近森病院		幡多けんみん病院 土佐市民病院 など※		近森病院	近森病院			国内留学		近森病院		
診療以外の キャリア	—	—		循環器専門研修 (合計2年相当まで並行研修可)													
償還期間 消化年数	1年	2年	3年	4年	6年		8.5年	9年		—		—		—			

※当プログラムで連携している償還免除となる高知市・南国市以外の医療機関には、幡多けんみん病院、土佐市民病院、須崎くろしお病院、くぼかわ病院、大井田病院、梶原病院、大正診療所、渭南病院、仁淀病院、**野市中央病院(R8年度より追加)**があります。その他の医療機関での勤務を希望される場合には、個別にご相談ください。